

業 績 目 録（令和6年）

大学院科目名：精神機能病態学

(A-a) 英文著書

なし

(A-b) 和文著書

- 1 富永敏行. 今日の治療指針 身体症状症. 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 編. 医学書院, 東京: pp1075-1076, 2024.
- 2 大矢 希, 佐伯吉規. 1)不眠. 今夜からもう困らない! 夜の症状緩和. 平山貴敏, 五十嵐江美, 佐々木千幸, 田上恵太 編. 南江堂, 東京: pp78-87, 2024.
- 3 樋山雅美, 成本 迅. 地域における認知症の人の ACP. 医師・看護師のための認知症プライマリケアまるごとガイド; 最新知識に基づくステージアプローチ. 内田直樹・遠矢純一郎・平原佐斗司 編. 中央法規出版, 東京: pp237-239, 2024.

(B-a) 英文総説

なし

(B-b) 和文総説

- 1 成本 迅. 金融機関に必要な能力評価. Dementia Japan 38(2): 242-247, 2024.
- 2 成本 迅. 高齢者のリエゾン・コンサルテーションと救急 III 認知症患者の医療同意能力について. 新訂・老年精神医学講座; 総論: 177-181, 2024.
- 3 成本 迅. 認知症への人の意思決定支援の諸相. 浅香山病院医学雑誌 3: 16-24, 2024.
- 4 成本 迅. 認知症 共生社会の推進を実現するための認知症基本法-認知症バリアフリー社会の構築を目指して. CLINICIAN◆20205 年医療トピックス◆700(72): 4-8, 2024.
- 5 富永敏行. 認知行動療法による痛みの制御. Medical Science Digest 50(8): 436-437, 2024.
- 6 富永敏行. 特集「痛み診療の新知見」 集学的痛みセンターで精神医療は何かができるのか. 京都府立医科大学雑誌 133(6): 325-336, 2024.

- 7 富永敏行. 身体症状症及び関連症群の評価尺度 PHQ-15, SSS-8, SSD-12, SSAS, HAI/SHAI. 精神医学 66(5) : 582-587, 2024.
- 8 富永敏行. 認知行動療法による痛みの制御 ; 炎症と記憶との関連. 細胞 56 (11) : 48-50, 2024
- 9 渡辺杏里, 山出健博. 治療に繋がる強迫症の評価尺度の使い方. 臨床精神薬理 27(4) : 341-346, 2024
- 10 大矢 希, 富永敏行. 各科ローテ準備ガイド 14 精神科 精神症状・精神疾患へのスティグマを減らそう！レジデントノート 26(3) : 517-519, 2024.
- 11 大矢 希. 統合失調症について. MEDICAL REHABILITATION 297 : 42-47, 2024.
- 12 大矢 希. 周産期メンタルヘルスにおける精神科医の関わりの現状. 病院・地域精神医学 66(2) : 128-131, 2024.
- 13 大矢 希, 成本 迅. 認知症の症状&間違いやすい疾患. おはよう 21 : 35(14), 2-21, 2024.
- 14 井川春樹, 阿部能成. 強迫症に対するニューロモデュレーション. 臨床精神医学 53(7) : 833-839, 2024.
- 15 今井 鮎, 成本 迅. 認知症治療の現状. 安全と健康 25(7) : 655-658, 2024.
- 16 今井 鮎, 成本 迅. 認知症の臨床教育・指導において何をおさえておくべきか. 精神科治療学 39(11) : 1249-1254, 2024.
- 17 樋山雅美. 金融機関における認知症対応の課題. Dementia Japan 38 (2) : 235-241, 2024.
- 18 樋山雅美, 成本 迅. 成年後見鑑定における評価尺度・検査の活用手順. 精神医学 66 (5) : 721-725, 2024.
- 19 吉井崇喜. 精神疾患動物モデルおけるげっ歯類 MRI を利用した形態解析の意義と問題点. 京都府立医科大学雑誌 133(10) : 681-691, 2024.

(C-a) 英文原著

- 1 Imai A, Matsuoka T, Nakayama C, Hashimoto N, Sano M, Narumoto J. Effectiveness of a Virtual Reality Open-Air Bath Program in Reducing Loneliness and Improving Brain Function for Dementia Prevention in Older Adults: Protocol. JMIR research protocols. 13: 1-9, 2024. (IF=1.5)
- 2 Yasuda T, Matsuoka T, Takagi T, Oya N, Akazawa K, Inoue R, Mizushima K, Ouchi N, Adachi A, Kamitani T, Itoh Y, Naito Y,

Yamada K, Matoba S, Narumoto J. The gut microbiota associated with pineal gland calcification. *Geriatr Gerontol Int* 24(1): 178-180, 2024. (IF=2.5)

- 3 Nakagami Y, Oya N, Horinouchi T, Aki M. The Making of Psychiatrists in Japan. *Taiwanese Journal of Psychiatry* 38(2): 51-59, 2024. (IF=-)

(C-b) 和文原著

- 1 加藤佑佳, 岡部佳世子, 武藤 崇, 下津咲絵, 岩原照彦, 成本 迅. 認心理師養成課程の学生を対象としたオンライン心理実習の実践と学生評価. *公認心理師：実践と研究* 3(1): 39-43, 2024.
- 2 垂水みなと, 中前 貴, 飯田直子, 平松怜彩, 森 泰輔, 成本 迅. 家族形成の選択肢についての情報提供パンフレットの有効性の評価. *日本生殖心理学会誌* 10(1): 36-44, 2024.
- 3 垂水みなと, 中前 貴, 飯田直子, 平松怜彩, 沖村浩之, 森 泰輔, 成本 迅. 男性不妊治療施設における里親・特別養子縁組制度に関する情報提供についての実態調査. *日本生殖心理学会誌* 10(1): 45-52, 2024.

(D) 学会発表等

I) 招待講演、特別講演、教育講演等

なし

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

なし

III) 国際学会における一般発表

- 1 Ayani N, Kurokawa T, Matsumoto Y, Oya N, Kitaoka R, Narumoto J. Clinical Epidemiology of the Effect of Novel Hypnotics on Prescribing Changes in Patients Using Benzodiazepine Receptor Agonists (Poster Presentation). The 35th CINP (The International College of Neuro-Psychopharmacology) World Congress of Neuropsychopharmacology. 2024 May 23-26.
- 2 Watanabe A, Kido M, Nakamae T. Electroconvulsive Therapy Utilization in Japan: Epidemiology using data from the National Database. The 35th World Congress Collegium Internationale Neuro-Psychopharmacologicum. 2024 May 23-26.
- 3 Watanabe A, Narumoto J. Quantitative changes in Cognitive

Flexibility induced by Transcranial Magnetic Stimulation in Depression: a preliminary report. The 35th World Congress Collegium Internationale Neuro-Psychopharmacologicum. 2024 May 23-26.

- 4 Matsumoto Y, Ayani N, Oya N, Kitaoka R, Watanabe A, Yoshii H, Kitaura Y, Inoue S, Narumoto J. Frequency and predictors of perioperative psychiatric symptom worsening in patients with schizophrenia spectrum disorders (Poster Presentation). The 35th CINP (The International College of Neuro-Psychopharmacology) World Congress of Neuropsychopharmacology. 2024 May 23-26.
- 5 Hiyama M, Kato Y, Asada Y, Kubo T, Kurakata T, Yamamoto T, Narumoto J. Characteristics of financial transaction ability in older adults. WFN/ADCD2024. 2024 April 7.
- 6 Oya N, Ayani N, Kuwahara A, Kitaoka R, Omichi C, Sakuma M, Morimoto T, Narumoto J. The incidence of falls and their association with psychotropic drugs in four nursing homes in Japan; a retrospective cohort study. 19 週年年會暨學術研討會. 2024 April 13; Kaosiung, Taiwan
- 7 Nakajima K, Ayani N, Kasahara K, Nakajima Y, Ikawa H, Kitaoka R, Akimoto T, Narumoto J. A case of manic symptoms as a result of corticosteroid administration for myalgic encephalomyelitis/chronic fatigue syndrome in a patient with bipolar disorder. The 10th World Congress Asian Psychiatry. 2024 Dec 5-7; Bali, Indonesia.

E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 2366万円

公的助成

代表（総額）・小計800万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和2年度～令和6年度
身体症状症および関連症群に対するグループ認知行動療法の効果の実証
助成金額 0万円
- 2 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和2年度～令和6年度
バーチャルリアリティー技術を用いた契約場面における意思決定能力
評価法の開発 助成金額 0万円
- 3 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和2年度～令和6年度
精神科入院環境における暴力等の粗暴行為および違反行為に関する臨床
疫学的研究 助成金額 0万円
- 4 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和2年度～令和6年度
内受容感覚の計算論モデルに基づいた身体症状症に対する評価指標の
開発 助成金額 140万円
- 5 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和3年度～令和7年度
認知症初期集中支援チームを利用した軽度行動障害への多職種連携早期
介入モデルの構築 助成金額 30万円
- 6 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和3年度～令和7年度
電気けいれん療法がもたらす認知的柔軟性：脳画像変化からメカニズムを
解明する 助成金額 60万円
- 7 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和3年度～令和8年度
身体症状症関連群に遠隔・集団認知行動療法は効くか？-VRを用いた探求
- 助成金額 70万円
- 8 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和5年度～令和7年度
精神療法を取り入れた不妊治療患者に対する家族形成支援プログラムの
開発 助成金額 90万円
- 9 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和5年度～令和9年度
発達障害合併強迫症患者の治療法開発
助成金額 50万円
- 10 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和6年度～令和10年度
治療選択における well-being な意思決定に寄与する要因の包括的検討
助成金額 120万円
- 11 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和6年度～令和9年度

高齢者介護施設入所者における薬物療法適正化とその効果に関する臨床疫学的研究 助成金額 100万円

- 12 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和6年度～令和10年度
身体治療目的入院中の統合失調症患者の精神症状悪化予測スコアリング
モデル作成と検証 助成金額 140万円

分担・小計36万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (B) 令和6年度～令和9年度
ひとり遊びを誘発するインタラクション技術による認知症者の内面世界
可視化の研究 助成金額 26万円
- 2 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 令和6年度～令和9年度
VRを使用した買い物場面における高齢者の視覚探索行動の解明
助成金額 10万円

財団等からの助成

代表 (総額)・小計0万円
なし

分担・小計1530万円

- 1 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 戦略的イノベーション
創造プログラム (SIP) 令和5年度～令和9年度
高齢者が生涯にわたって自立的に経済活動ができる包摂的な社会経済
システム構築 助成金額 1530万円